

酒井家の明治維新 戊辰戦争と松ヶ岡開墾



酒井家庄内入部400年

庄内藩主酒井家は、3代酒井忠勝が元和8年(1622)に庄内へ入部して以来、現在に至るまで一貫して“地元”に住み続け、地域振興に力を尽くしています。令和4年(2022)は、庄内藩主酒井家が入部して400年という節目の年です。これを記念し、致道博物館では5つの特別展を開催しています。第5弾、最終章となる本展では、幕末から明治・大正時代にかけての激動期の庄内藩と酒井家の事績を、歴史資料や写真資料などから辿ります。幕府方として戦い抜いた戊辰戦争、明治の新たな時代に興した松ヶ岡開墾事業を紹介し、版籍奉還後の酒井家の歴史にも焦点を当てることで、時代の転換期を再考する機会といたします。

江戸薩摩藩邸焼討

慶應3年(1867)12月25日
江戶市中取締役の庄内藩兵ら
焼討決行、開墾の引き金に



錦絵「近世史略 薩州屋敷焼撃之図」(豊洲国輝画、明治24年) 当館蔵

内憂外患

文化10年(1813)
ロシア船が函館沖へ
幕府が出兵を要請

安政6年(1859)
西蝦夷地を拜領、
警備と開墾始める

ロシア掛船図 当館蔵

報恩 敬慕

地域振興の志
先賢の遺徳を
後世に

右)西郷隆盛書「敬天愛人」
右)副島種臣書「蕃菰香處」
ともに個人蔵

庄内酒井家 幕末から明治へ

混沌の時代 - 苦渋の選択と決意

後嗣問題

世子の忠恕 実弟 忠寛の相次ぐ死

ただあき 11代酒井忠発所用 紫裾濃腹巻 当館蔵

内戦不可避

独逸留学

ベルリン ドイツ

古写真帖より 当館蔵

関連イベントなど

- ◆学芸員によるギャラリートーク 申込不要
11月26日④、12月10日④ 両日14~15時
- ◆記念講座 講師：今野章氏(鶴岡市郷土資料館)
12月17日(土) 14~16時 要申込
- ◆高校生学芸員による400年記念展示
12月26日(月)まで(旧鶴岡警察署庁舎ホール)
- ◆東北文化の日★小中学生無料入館DAY
11月の土日祝日は、小中学生入館無料!

守護防衛

庄内

帰順降伏

明治元年(1868)9月16日
隠居の大殿・酒井忠発が降伏を決断
藩主忠篤は謹慎、弟の忠宝が家督

戊辰戦争絵巻(作者不明) 当館蔵

兵学修行

鹿兒島 西郷隆盛のいる鹿兒島へ

古写真アルバム帖より 当館蔵

松ヶ岡開墾

庄内

松ヶ岡開墾の記録写真 松ヶ岡開墾場蔵



Chido Museum Information

重要文化財 旧渋谷家住宅

国指定名勝 酒井氏庭園

旧庄内藩主 御隠殿

重要文化財 旧鶴岡警察署庁舎

重要文化財 旧西田川郡役所

重要有形民俗文化財 収蔵庫

民具の蔵

美術展覧会場 (企画展会場)

致道博物館

CHIDO MUSEUM

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
電話:0235-22-1199 FAX:0235-22-3531
https://www.chido.jp/ E-mail:infochido@chido.jp

■JR鶴岡駅より
バス10分
「致道博物館前」
下車徒歩2分

■山形自動車道
鶴岡ICより
車で5分

■庄内空港より
車で20分

「致道(ちどう)」の名称は庄内藩校致道館に由縁し、出典は「論語」で「君子学んで以て其の道を致す」です。